

第56回 教誨師中央研修会結果報告

実施日 令和4年8月30日(火)～31日(水)

場 所 法務省大会議室

参加人員 研修生37名 役員等33名

目 的

教誨師として委嘱されてからおおむね4年未満の教誨師で、中央研修会に出席経験のない教誨師を対象として、矯正行政の施策や方向性並びに矯正施設の収容動向等について理解を深め、先輩教誨師からの助言を拝聴し、教誨師としての自覚を高め、「教誨の実施方法について」をテーマにして必要とされる基本的情報・知識・技術等の向上を図る。

内 容

- (1) 開会式
- (2) 矯正局長 花村 博文 氏 講演 「矯正の現状」
- (3) 前奈良少年刑務所教誨師 講演 脇屋 眞一 氏
「新任教誨師への助言」
- (4) 研修ビデオ視聴「教誨師としてしてはいけないこと」
- (5) 法務省内見学(終了:午後5時予定)

8月31日(水) 午前9時集合

- (1) 記念撮影
- (2) グループ別討議「研修ビデオ」について
- (3) 質疑応答
- (4) 閉会式 (終了:午後2時30分)

結果報告

教誨師は、被収容者に対して魅力のある教誨を実施するために日ごろから自己研鑽に努め、教誨の質を向上させることに努めているが、更なる質の向上を図るため矯正施策や矯正施設の収容動向等に関する最新の情報を収集し理解を深め、加えて被収容者の改善更生を促し健全な社会復帰を図るためには、教誨師として何をすべきなのかについて教誨活動のあり方や指導方法等について討議や意見交換を行い、教誨活動を充実させるための研鑽を行うことができた。



